

令和3年度分の学校関係者自己評価実施状況報告書

幼稚園名：国立ふたば幼稚園

1 自己評価の実施の有無

有 / 無

2 本園の教育目標

- ・ 集団生活の中で園児が自立の精神を養うことができる
- ・ 園児一人一人の個性を尊重し豊かな人間形成を育むことができる
- ・ 他者を思いやることができる

3 本年度重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、制限がある中でも通常保育・学園行事等の内容を充実させ、園児一人一人の自立心を養い、豊かな人間形成を育む。

4 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程を見直し改善を図る	A	保育中の園児の姿、遊びでの様子を教職員が定期的に話し合い、ねらいや内容を修正した。
2	健康と安全に対する配慮	A	園児と教職員の検温や保育室の換気、トイレ消毒等の衛生面を重視、環境を整備した。
3	教育の質の向上の為の研修	B	外部講師を招き、教職員全員で研修に参加、保育に還元し教育の質の向上を図った。

評価(A:十分に成長があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果があった)

5 総合的な評価結果

評価	理由
A	新型コロナウイルスの影響により変則的な保育期間にせざるを得ない期間が多々あったものの、従来の保育計画を実践するだけでなく、園児一人一人の健康面から教育課程までを見直し、豊かな人間形成を育む環境を構成できた。

評価(A:十分に成長があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果があった)

6 今後取り組む課題

評価	課題	具体的な取り組み方法
1	健康面	園児の新型コロナウイルス集団感染を防ぐ為、手洗い・換気・手指消毒を今後も継続して各クラス徹底する。
2	人材育成	半数の担任が退職することから、新年度もまずは保育計画を実践できるよう、各学年に経験者を配置し人材の育成に充てる。

7 学校関係者自己評価委員会の評価

園児1人1人が通常保育及び年間行事を通して、新型コロナウイルスの影響による変更点はあったものの、のびのびと自己を表現する園児の姿があり、幼稚園としても安全な環境を提供することができた。今後も新型コロナウイルスの影響は不明ではあるものの、当園の教育計画を回復させていくと共に当園児の成長を確認していく。